

わたしたちの 当初 予算

平成 24 年度当初予算の概要をお知らせします。

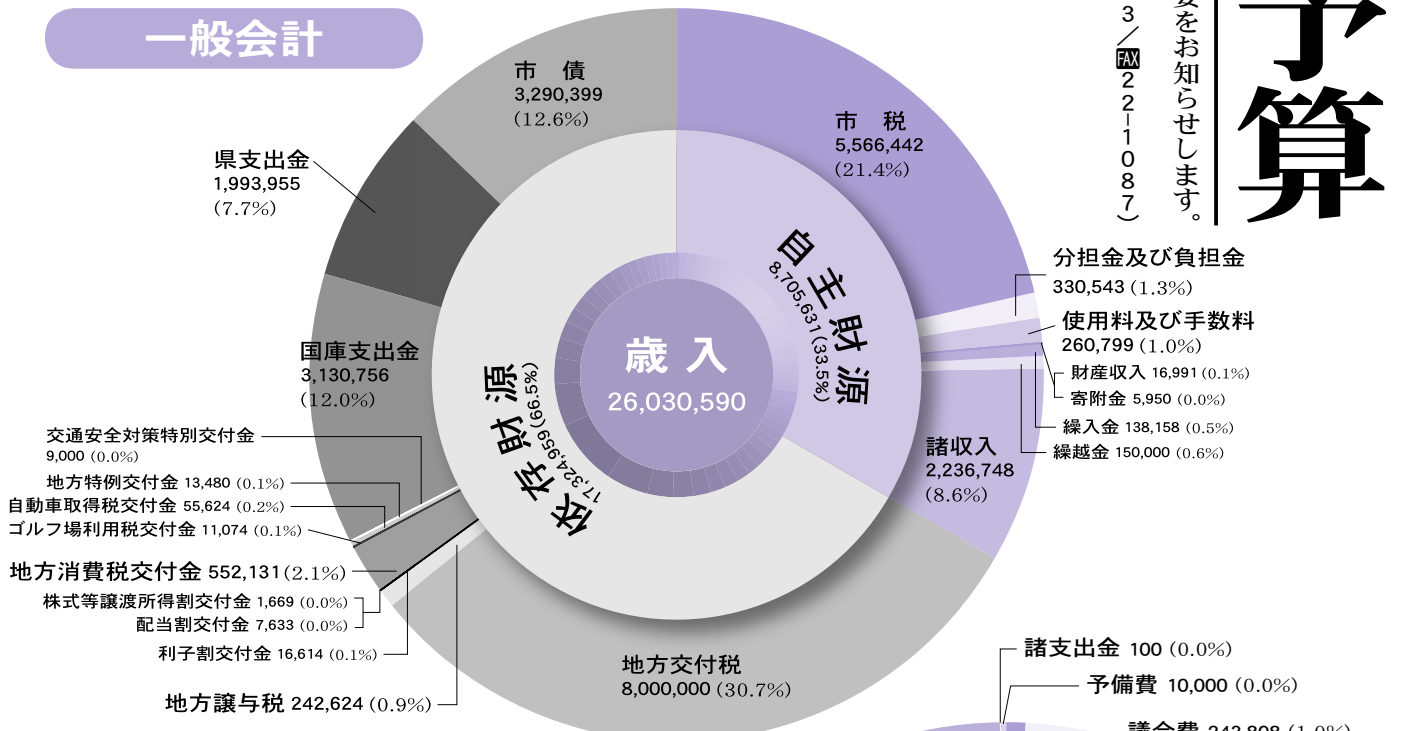
商 財政課 ② 2 - 1 8 1 6 3 / ② 2 2 - 1 1 0 8 7



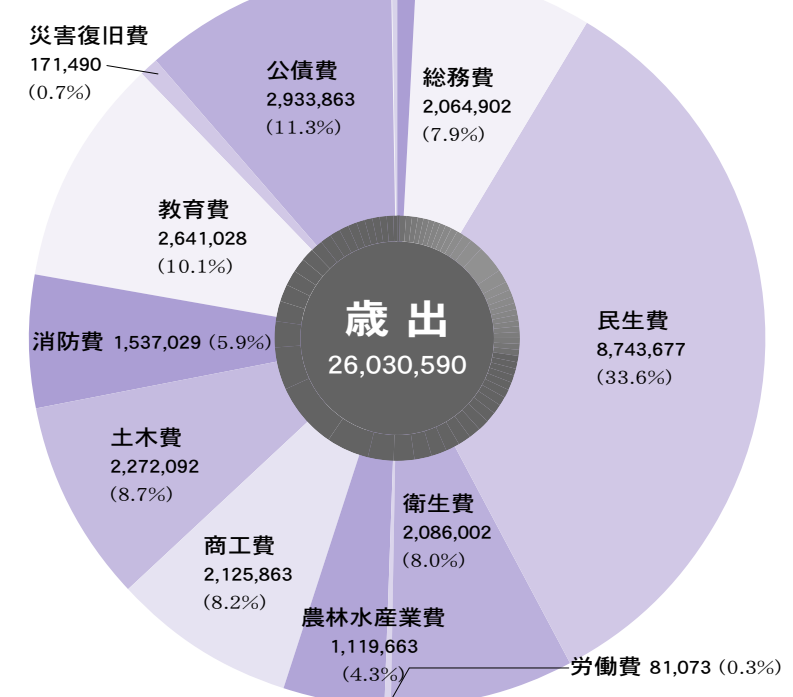
地域に愛着と誇りを持ち、豊かで安全・安心な暮らしをしっかりと支えるまちづくりを目指して—

平成 24 年度予算は、「ぐらしよしふるさとビジョン」に基づき、特に重点的、優先的に取り組む「戦略プロジェクト」を推し進めるため、「雇用の場を確保するための企業誘致対策と産業振興」、「集客力を高める観光・コンベンション対策」、「安全・安心に暮らせる防災対策」、「県外から人を呼び込む移住定住対策」などを重点的に予算計上しています。

一般会計



(単位：千円)



(単位：千円)

◆用語解説◆

- **会計年度**：歳入歳出の区切りとされる期間。4月1日から翌年3月31日までが一つの会計年度と定められ、この期間の歳入で歳出をまかいます(例外もあります)。
- **歳入**：会計年度におけるすべての収入
- **歳出**：会計年度におけるすべての支出
- **一般会計**：基本的な会計
- **特別会計**：特定の事業を行う場合に、一般会計とは別に、その事業のみでつくる会計
- **企業会計**：公営企業の会計

【平成24年度当初予算の特徴】

① 企業誘致・産業振興

■ 企業誘致を進めるにあたり、新たに工業団地を原石山採石場跡地に整備

■ 県外企業に「倉吉」を知ってもらうため、多くの関係者が来場する「企業誘致フェア」へ出展

② 観光・コンベンション

■ 観光協会を「くらし観光・MICE（マイス）協会」として行政から独立させ、組織体制を強化

■ 全国へ観光情報発信を行うため、有名旅行雑誌と連携したマーケティング調査や個人客を対象とした旅行雑誌への掲載

③ 防災対策

■ 災害時に防災拠点となる施設を整備するため、倉吉市水防センターと消防局とを合築する施設の実設計費など

■ 児童・生徒の安全・安心の確保と、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすため、小中学校の耐震化を前倒して実施

④ 定住対策

■ 県外からの移住者が市内に住宅を取得（新築、購入、改修）する際に必要な経費の一部を助成

■ 移住定住に関する相談員を配置し、相談業務や空き家情報の収集・提供や移住定住者を支援

特別会計・企業会計

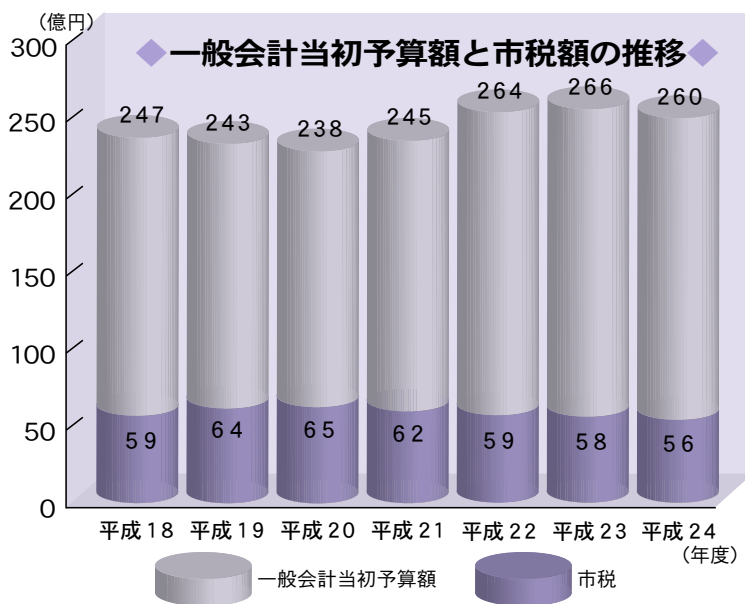
(単位：千円)

会 計 名	予 算 額 (増 減 率)
国民健康保険事業	5,731,627 (+2.8%)
介護保険事業	4,825,174 (+1.7%)
老人保健事業	2,464 (△87.3%)
後期高齢者医療事業	533,311 (+2.1%)
簡易水道事業	245,556 (+3.0%)
温泉配湯事業	9,626 (±0.0%)
住宅資金貸付事業	64,395 (△18.6%)
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業	727 (△46.3%)
土地取得事業	36,000 (±0%)
上井羽合線沿道土地区画整理事業	141,166 (△6.7%)
下水道事業	3,103,855 (△1.7%)
駐車場事業	16,843 (△1.1%)
集落排水事業	610,027 (△1.9%)
国民宿舎事業	71,131 (△7.3%)
高城財産区	17,043 (△2.1%)
小鴨財産区	4,672 (△1.2%)
北谷財産区	158 (±0.0%)
上北条財産区	22,473 (△4.3%)
(企業会計)水道事業	1,419,299 (△0.5%)

◆ 市税の内訳 ◆

	予算額 (千円)	1人当たりの 換算額* (円)
市民税	2,260,400	45,006
固定資産税	2,758,082	54,916
軽自動車税	129,200	2,572
たばこ税	300,000	5,973
入湯税	1,960	39
都市計画税	116,800	2,326
合 計	5,566,442	110,832

* 3月31日現在の住民基本台帳による人口49,988人に、外国人登録者数236人を加えた50,224人を全体住民としました。



◆ 会計別予算の概要 ◆

一般会計：
260億3,059万円(前年比△2.4%)
特別会計：
154億3,624万8千円(前年比+0.9%)
企業会計：
14億1,929万9千円(前年比△0.5%)
合 計：
428億8,613万7千円(前年比△1.2%)

◆ 住民一人当たりの歳出額(一般会計) ◆

*平成24年3月31日現在、人口50,224人で計算

